

「14 戦争と市民」の資料で、戦争に対する人々の気持ちを考えてみよう。

☆次の展示品を見て、（ ）と □ に言葉を入れましょう。

【 】の中は正しい方に○を付けましょう。



14-1 召集令状(充員召集令状)

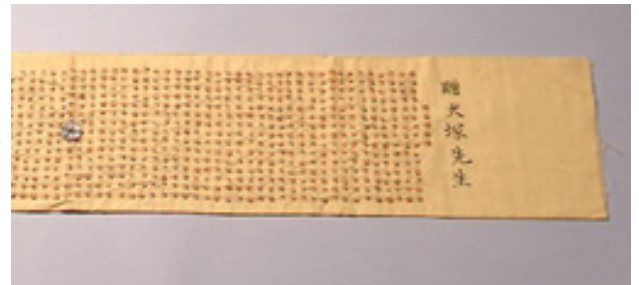
☆ これは「^{しょうしゅうれいじょう}召集令状」といって、この紙が届いた人は、どのような事情があっても、指定の日までに、決められた場所に集まり、兵士として戦争に参加しなくてはなりませんでした。

この「召集令状」は 紙の色から

(^{あか}赤 ^{がみ}紙) とよばれていました。

☆ 人々は、どんな気持ちで兵士の人たちを送り出したのでしょうか。

戦争に行く兵士に贈られたものです。
おおぜいの【女性 男性】が、布に
木綿糸で結び玉を縫いつけ、兵士が
(^{たまにあたらなこと / 死ななこと})
を祈りました。



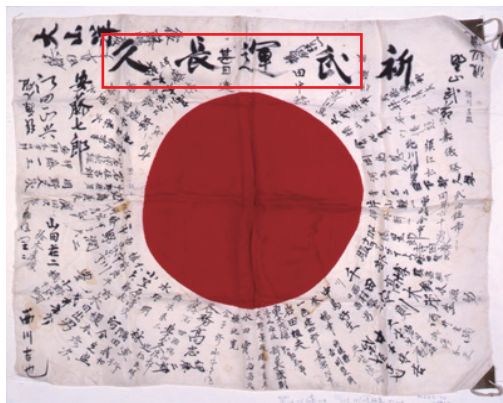
14-1 ^{せんになはり}千人針

おもに【女性 男性】が、

兵士の

武	運	長	久
---	---	---	---

を祈りました。



14-1 ^{にっしょうき}日章旗寄せ書き

ヒント:写真の □ を読んでみよう。右から読んでね。

「^ぶ武^{うん}運^{ちやう}長^く久」とは、戦争に勝つ運が長く続くことで、戦争の時によく使われました。

愛知県出身の戦死者数は、約 (^{じゅう}10万) 人といわれています。これは、現在の昭和区や瑞穂区の人口とほぼ同じです。 ヒント:「14-1 召集」の解説パネルを読んでみよう。

☆ 「14 戦争と市民」の資料を見て、知らなかったこと気づいたことを書いておこう。

あなたが観察した資料の名前

「墨塗り教科書」

※自由に書いてください。これは一例です。

知らなかったこと 気づいたこと

「生徒に読ませたくなかった部分を墨で塗りつぶした教科書があったなんておどろいた。」